

震災がれきの活用技術、環礁島嶼国を守る

キリバス 海水練りコンクリートを用いて護岸補修

国際協力機構(JICA)は6月30日、「中小企業海外展開支援事業～案件化調査～」において株式会社ハシカンプラ(宮城県仙台市、渡辺元代表取締役)、土木地質株式会社(宮城県仙台市、橋本岳社代表取締役)が共同提案する「水硬性固化材(ハイデガス)を活用した気候変動対策にかかる案件化調査」(キリバス共和国)を採択しました。

キリバスは、海面上昇、サイクロン、高潮などの災害リスクに脆弱で、海岸の浸食により島内移住、地域分断等の課題に直面しています。護岸整備は高い優先順位となっていますが、護岸の多くは損壊状態で、計画は実を結んでいません。

土木地質株式会社は、水硬性固化材(ハイデガス)を開発し、株式会社ハシカンプラは、震災がれきを再利用してコンクリート製造することを可能にしました。この技術は塩分を含んだ砂やがれきをそのままコンクリートの材料として使用できるため、真水の少ない島嶼でも問題がなく、施工コストも大幅に低減でき、施工後は耐海水性・耐硫酸性に優れているため、長寿命化効果が期待できます。本調査では、キリバスの環境下でのハイデガス配合設計・サンプル製作、海岸部実態調査を行います。



プレパクトコンクリート打設中
海水使用



プレパクトコンクリート硬化後

この調査は、我が国の中小企業を対象とした「中小企業海外展開支援事業～案件化調査～」として実施されます。案件化調査は、途上国の開発ニーズと日本の中小企業の優れた製品・技術等とのマッチングを行い、製品・技術をODA事業に活用するための情報収集・事業計画立案等を支援することを目的としたもので、2012年度から実施されており、2016年度第1回分は本年2月に公示を行いました。117件の応募のうち35件が採択され、今後の契約交渉を経て契約に至ったものから、順次調査を実施します。

参考:(プレスリリース)案件化調査2016年度第1回公示の採択結果について

URL: <http://www.jica.go.jp/announce/notice/investigation/index.html>

【本件に関する問い合わせ先】

JICA 東北支部 市民参加協力課 上野(担当)

TEL 022-223-4772 e-mail: Uwano.Midori@jica.go.jp